

平成27年度バス交通等検証委員会での意見の概要

日時 平成27年3月26日(木)

場所 京田辺市保健センター研修室

- 負担金路線以外の路線と、負担金路線との路線やダイヤが重複しているように思う。路線は独自性をだし、重複しないように拠点と拠点をつなぐような路線が望ましい。
- 路線維持経費の負担をする対象高齢者の昼間移動とするなら、時間は多くかかってもよいが目的地のすぐ近くまでバスの寄りつきがあったほうがよい。
- バス事業者がどのような努力をしたのか、どういう思いで運行しているのか等の声を聞いてみたい。またバス事業者へは要望として活動していかないと、現状から改善されないのではないか。
- 奈良交通の自由乗降区間では、時刻目安を表示したほうが利用しやすい。
- このバス検証委員会の今後のあり方について、京大の交通政策研究ユニットとは違う利用者からの立場で、より多くの意見を集めることができるように、色々な立場の方にもっと多く参画頂いた方がいい。

○今後も赤字状態は継続すると思うが、この負担事業はぜひ継続して欲しい。